

2025

7月号
Vol.112

担い手 サポートセンター

通

信



写真上：JAうつのみや（左から）大木 豊久さん 貴広さん
写真下：JAしもつけ（左から）舩田 愛さん 真由美さん

CONTENTS

サポートセンター情報	頑張る担い手インタビュー !!	2
園芸情報	トマトグランプリ表彰者決定 !	4
園芸情報	栃木の花を飾ろう ! 贈ろう !	5
共済連情報	農業用施設に関するリスクへの備え	6
農研センター情報	トルコギキョウの高温対策技術について	7
中央会情報	とちぎ農業経営・就農支援センターのご案内	8
中央会情報	熱中症の予防と対策	9

米麦情報	今からできる水稻高温登熟障害軽減対策	10
米麦情報	JA 全農とちぎ米穀課からのお知らせ	11
農薬情報	水稻初中期一発除草剤「ゼアス」新登場 !	12
肥料情報	有用菌入り完熟有機発酵資材「有機ゴールド」	13
農業機械情報	パワフルアグリフェアを開催いたします !	14
生活情報	商品紹介 涼しさに「ハット」する「遮帽」	15
野生を食べる／編集後記		16

頑張る担い手インタビュー!!

▶ お名前：大木 豊久、貴広
品 種：水稻 16ha
就農年数：35 年目、来年就農予定



本日は、JAうつのみや管内で水稻の生産に取り組まれている、大木豊久さんご子息の貴広さんをご紹介します。

▶ どのような経緯で就農を決意されたのですか？

両親が農業を営んでおり、私自身も長男であったことから、農業を継ぐことは自然な流れでした。長年、会社勤めをしながら、平日の出勤前や休日に農作業を行う兼業農家でしたが、現在は専業で農業に従事しています。(豊久さん)

実家が代々農業を営んでいたこともあり、幼い頃から農業に親しみを感じていました。大学卒業後はJAに勤めていましたが、水稻の栽培管理面積が7haから16haへと拡大したタイミングで就農を決意しました。昨年4月からは父のもとで栽培技術を学び始めており、本格的な就農は来年1月からを予定しています。(貴広さん)

▶ 省力化のために取り組んでいることはありますか？

今年からドローンを導入し、肥料や農薬の散布に活用しています。これにより、圃場に入らずに作業ができるようになり、省力化につながっていると感じています。また、来年から水稻直播栽培の導入も検討しています。新しい技術を積極的に取り入れながら、作業の効率化を図り、省力化できる部分は今後も進めていきたいと考えています。



▶ ドローンのほかに、何かスマート農業を導入されていますか？

今作から栽培管理支援システム「ザルビオ・フィールドマネージャー」を導入しています。圃場が広範囲に点在しており、新たに借りた圃場もあるため、それぞれの位置を把握するのが大変でしたが、ザルビオでは圃場の位置を地図上で確認できるため、導入当初はその機能が特に役立ちました。また、生育ステージの予測や病害のリスクを知らせるアラート機能なども搭載されており、今後はこれらの機能を活用することで、適期防除など効率的な管理を進めていきたいと考えています。

▶ 今後の目標を教えてください。

現在は、父と私の作業の割合が7：3ほどで、長年の経験を持つ父には、技術面はもとより作業スピードの面でも及ばないですが、今後数年のうちには、その割合を5：5程度に近づけ、お互いの得意な作業、不得意な作業を補いながら農業を続けていきたいと考えています。また、近年の気温上昇による、水稻栽培の環境変化に対応するために、高温耐性のある品種への切り替えなどを検討しつつ、効率的な農業経営に取り組みながら地域の担い手として認めていただけるように努めていきたいと思っています。

他にも環境負荷低減の肥料を使用するなど、様々な取り組みをされている農家さんでした。本日はお忙しいところありがとうございました。

頑張る担い手インタビュー!!

▶ お名前：(株) Universal Yard
代表取締役：舩田 愛、真由美
品 種：トマト (115a：かれん)
就農年数：27 年目



本日はJAしもつけ管内でトマトの生産に取り組み、今年開催された栃木県冬春トマトグランプリで農林水産大臣賞を受賞された農業法人の(株) Universal Yardさんをご紹介します。

▶ 就農までの経緯と現在の経営について教えてください。

農家の長男として、両親からは就農を勧められていましたが、そのまま家業を継ぐことに抵抗があり、大学では工学部に進学しました。しかし、卒業後に厳しい就職状況に直面したことや、両親から「自分のやり方で農業をしてもいい」と背中を押されたことがきっかけとなり、農業という道を意識するようになりました。初めの1年間は栃木市内のトマト農家で研修をさせていただき、就農。当初30aほどであった面積を現在は115aほどに拡大し、家族に加えて社員2名とパート16名とともに経営を行っています。



▶ トマトを栽培品目に選んだ理由を教えてください。

もともと理科の実験が好きで、コツコツと観察や記録を積み重ねる作業が好きだったことから、トマトの栽培は向いているのではないかと感じたのが、選んだ理由の1つです。実際に現在も、週に1度生育調査を行い、生育を確認したり、より良い品種を見極めたりと、記録をもとにした改善を重ねています。また、就農当初地域にトマトの選果場が新たに整備される予定があり、今後の出荷体制が整っていくことや、規模拡大が見込め将来性があることも大きな後押しとなりました。

▶ 現場の雰囲気やを良好に保つために行っていることを教えてください。

現場の雰囲気を良く保つために、特に人間関係を大切にしています。パートの方を採用する際は、作業能力以上に、周囲との関わり方や協調性を重視しています。面接の段階でも、その点を丁寧に伝えるようにしています。また、スタッフひとりひとりの声に耳を傾ける機会として、2ヶ月に1度面談を実施しています。昨年、法人化を行ったことで、社員の社会保障制度も整えられ、今後もより安心して働ける体制を整備していきます。

▶ 今後の展望を教えてください。

栽培規模の拡大よりも現状の生産規模の維持が目標です。気候変動や生産コストの上昇といった様々な課題がある現状において、しっかりと品質を維持しながら反収を確保していきたいと考えています。

トマトの栽培のあり方や雇用している社員・パートの方への向き合い方など、様々な面での細やかな気配りが強く伝わってきました。本日はお忙しい中ありがとうございました。

🍅 トマトグランプリ表彰者決定！ 🍅

全農とちぎおよびとちぎ農産物マーケティング協会では、県内各産地における冬春トマト生産技術の交流を積極的に推進し、栽培意欲の高揚と栽培技術の改善及び高品質生産を図り、もって本県トマト生産の振興発展に資することを目的とし、2年に1回栃木県冬春トマトグランプリを開催しています。

令和7年産第15回目の開催となった今回は、令和元年産から7年ぶりの開催となりました。令和6年12月、令和7年3月に圃場および品質審査をおこない、下記のとおり受賞者が決定しました！

第15回栃木県冬春トマトグランプリ(越冬長期取りの部)審査結果

主催者賞	特別賞	氏名	JA名
大賞	農林水産大臣賞	(株)Universal Yard	JA しもつけ
金賞	栃木県知事賞	星野 友彰	JA 足利
金賞	農産局長賞	小島 尚哉	JA しもつけ
金賞	関東農政局長賞	中里 一広	JA はが野
金賞	全農会長賞	渡邊 義正	JA かみつが
金賞	栃木県農協中央会長賞	上野 俊介	JA うつのみや



受賞者の皆様、おめでとうございます！



第15回栃木県冬春トマトグランプリ表彰式並びに 栃木トマト産地改革研究会 開催！

日時：令和7年7月24日（木）午後1時30分から午後4時

場所：栃木県庁公館（宇都宮市昭和1-1-38）

栃木トマト産地研究会：「現場を変える『トヨタ式カイゼン』の考え方」

（講師 トヨタ自動車株式会社 新事業推進部アグリバイオ事業室）

※リモート視聴可！（Zoom）

問い合わせ先：トマトグランプリ事務局 JA 全農とちぎ園芸部園芸総合課 横山

（電話：028-616-8831）

栃木の花を飾ろう！贈ろう！

この時期オススメのとちぎの花

この機会にとちぎの花を生活に取り入れ、暮らしに彩りを加えてみてはいかがでしょうか？

輪菊



スプレーマム



ユリ



バラ



来月お盆にもとちぎの花を！



来月8月にはお盆があります。

花を飾ることは、ご先祖様や仏様へ「感謝の気持ちを表現する」「花の香りを楽しんでいただく」ことになります。そしてきれいな花は「仏様の慈悲・忍耐の象徴」でもあり、「お供えする人の心を豊かにする」ことでもあります。ぜひ、お盆にもとちぎの花を取り入れてみてください！



JA全農とちぎHP内にて
とちぎの花を扱っている
「栃木の花販売協力店」を紹介しています！



@zennoh_tochigi_flower

とちぎの花

#とちぎの花 #tochigi_flower

公式Instagramはじめました！



農業用施設も大切な財産



もしも
農業用施設に関する
リスクに備えて
いなかったら。



農業にはさまざまなリスクが潜んでいます。
農業用施設は火災や台風・地震といった
自然災害などのリスクにさらされています。

《 こんなことになる前に
ぜひご相談ください。 》

詳しくはお近くのJAにお問い合わせください。

【 成果速報 】

トルコギキョウの高温対策技術

【背景】

本県のトルコギキョウ栽培では、8月から9月に定植を行い、11月頃から1番花を収穫した後、翌春に2番花を収穫する作型が主流となっています。しかし、**近年の気候変動による夏から秋の高温の影響で、「短茎早期開花(草丈が伸びず短い丈での開花)」**(図1)の増加により等級が低下し、**販売価格の下落**を招いています。

そこで、**高温の影響を回避し、需要期に質の高い切り花を安定供給できる栽培技術の確立**に向け試験を実施しています。

今年度は、昨年度の試験で短茎早期開花の抑制に有効であった**赤色 LED 終夜照射(日没後～翌 7:00)**とダクトを用いた**局所夜冷処理(18:00～翌 6:00)**を組合せ(図2、3)、効果的な処理方法の検討を行いました。



図1 1番花の短茎早期開花

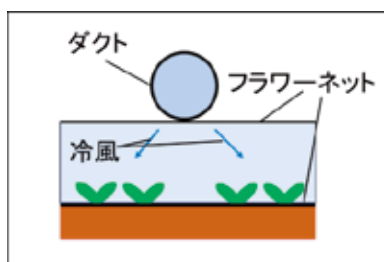


図2 局所夜冷処理のイメージ
※ダクトから斜め下に冷風が出るよう、2か所に穴を開けた。



図3 赤色 LED 照射中の様子

【結果】

県内の主要6品種を供試した結果、「**赤色 LED 終夜照射のみで効果が現れる品種**」と「**赤色 LED 終夜照射と局所夜冷処理を組合せることで効果が現れる品種**」が存在することが明らかとなりました。

これらの処理を行うことにより、主茎節数が増加し、切花長が伸長するため、収益の向上が期待されます(図4、表)。

① 【赤色 LED 照射のみで効果があった品種】

「クリスハート」、「マキア(2型)ラベンダー」

② 【赤色 LED 照射+局所夜冷処理で効果があった品種】

「グラナスピンク」、「ボレロフレアホワイト」、

「F1 渚 B」、「コロンホワイト」

②の4品種は、**赤色 LED の感受性は低いものの、局所夜冷処理を組合せた処理を行うことで短茎早期開花を回避できる**ことが示唆されました。



図4 開花時における各処理区の草丈の違い(品種：クリスハート、左から無処理、局所夜冷処理、赤色 LED 終夜照射、赤色 LED 終夜照射+局所夜冷処理)

表 処理の違いが品種「クリスハート」の開花品質に及ぼす影響 (8/8 定植)

	開花日 ¹⁾ (年/月/日)	切花長 (cm)	主茎節数 (節)	切花長の割合(秀品 ²⁾)		
				80cm	70cm	60cm
赤色LED終夜照射	2024/11/2 ab ³⁾	89.1 ab	12.3 ab	95% a	5% b	0%
局所夜冷処理	2024/10/28 b	83.7 b	11.5 bc	73% ab	8% b	0%
赤色LED終夜照射+局所夜冷処理	2024/11/7 a	94.2 a	12.8 a	100% a	0% b	0%
無処理	2024/10/20 c	76.6 c	10.4 c	28% b	61% a	11%

注1. 開花日は、3輪以上の小花が開花した日とした。

2. 秀品は3輪1蕾以上とした。単価は80cmと比べ70cmで約10%、60cmで約20%低下する。

3. Tukey法により異符号間で5%の有意差あり。



栃木県農業総合研究センター
試験研究成果は、ホームページで見られます！
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/>



栃木県農業総合研究センターは、明治28(1895)年に県立農事試験場として創立され、令和7(2025)年で130周年を迎えます。

農業者の皆様へ！

とちぎ農業経営・就農支援センター (旧：農業経営相談所) のご案内

栃木県農業振興公社内に「とちぎ農業経営・就農支援センター」の事務局を設置しました。

法人化や事業承継などに関する農業者の悩み、新規就農に関する相談など経営面での課題等に各種専門家を派遣し、皆様の経営改善や経営発展をお手伝いします。

悩み事・相談事



派遣

問題解決

(支援チーム)
専門家

- 司法書士・・・・・・・・法人化や相続の手続
- 中小企業診断士・・・・経営診断
- 社会保険労務士・・・・労務管理、規則作成
- 税理士・・・・・・・・税務、資産の譲渡
- 法人経営者・・・・経営者のスキル向上
- その他・・・・・・・・お気軽に御相談ください

※相談内容や相談時期によっては派遣できないこともあります

相談窓口

とちぎ農業経営・就農支援センター（公益財団法人 栃木県農業振興公社内）

栃木県宇都宮市一の沢2丁目2番13号 アグリプラザ内

TEL:028-648-9511 / FAX:028-648-9517

各農業振興事務所および各JAにサテライト窓口を設置していますので、お問い合わせは、サテライト窓口をお願いします。（下記参照）

サテライト窓口

河内農業振興事務所	: 028-626-3072	JAうつのみや	営農企画課	: 028-625-3388
上都賀農業振興事務所	: 0289-62-6125	JAかみつが	営農振興課	: 0289-77-5350
芳賀農業振興事務所	: 0285-82-3074	JAはが野	営農企画	: 0285-83-7623
下都賀農業振興事務所	: 0282-24-1101	JAしもつけ	営農企画課	: 0282-20-8828
塩谷南那須農業振興事務所	: 0287-43-2318	JAおやま	営農企画課	: 0285-33-4321
那須農業振興事務所	: 0287-22-2826	JA佐野	営農企画課	: 0283-24-3420
安足農業振興事務所	: 0283-23-1431	JA足利	営農振興課	: 0284-22-4433
		JAしおのや	営農企画課	: 028-681-7554
		JAなすの	営農課	: 0287-62-5550
		JAなす南	営農指導課	: 0287-96-6170

農林水産業における熱中症対策

作業前の少しの心がけ、手軽なアイテムの導入で熱中症を予防し、作業事故を減らしましょう

Point 1

作業前の心がけ

- ☒ 体調 … 体調が悪いと熱中症リスクが高まります。無理せず休みましょう。朝食でしっかりと栄養と水分を取りましょう。
- ☒ 天気予報 … 天気予報で、1日の気温変化、湿度変化を確認しましょう。
- ☒ 飲み物 … 冷たい飲み物、電解質を含んだ飲み物を持参しましょう。
- ☒ 緊急連絡先 … 万が一に備え、携帯電話や無線機を持参しましょう。手持ち品や作業車に緊急連作先をメモしておきましょう。
- ☒ 作業計画 … 気温の高い時間帯を外して作業しましょう。休憩を十分に入れ、作業時間を短縮しましょう。



無理をしないこと、備えることが、熱中症予防の前提

Point 2

作業中の心がけ

- ☒ 暑さ指数 … 熱中症は気温だけでなく、湿度や日射の影響を受けます。現場の暑さ指数を確認し、リスクを把握しましょう。
- ☒ 休憩 … 暑い日は、いつも以上に小まめに休憩を取りましょう。日陰や手足を露出できる休憩場所を確保しましょう。
- ☒ 水分補給 … のどが渴いていなくても、20分に1回、コップ1杯以上の水分を補給しましょう。
- ☒ 塩分補給 … 電解質を含む飲み物や、塩飴・タブレットから塩分補給をしましょう。



小まめに休み、水分補給することが、熱中症予防の基本

農林水産省



Point 3

熱中症対策アイテムの導入

暑い時間帯の作業を避けられない場合



暑い時間帯を避けて作業するのが対策の基本ですが、作業工程や役割分担などにより、それが難しいのが現実です。そのような時は、次のアイテムを導入し、身体の負担を減らしましょう。

特集1 身体を冷やす服装の導入

特集2 体温調整をサポートする装備の導入

1人作業のリスクを回避したい場合



複数人で作業をし、互いに声を掛け合って休憩したり、安全を確認できることが望ましいですが、1人作業となる場合なども想定されます。そのような時は、次のアイテムを導入し、安全管理をサポートしましょう。

特集3 身体をモニタリングする機器の導入

応急措置用品、冷却グッズの携行

作業環境を改善したい場合



日陰のない野外や風通しの悪いハウス内など、農林水産業の現場は必ずしも作業環境がよくありません。そのため、少しでも作業環境を改善し、熱中症の予防に努めましょう。

特集4 作業場の改善、休憩の質的向上



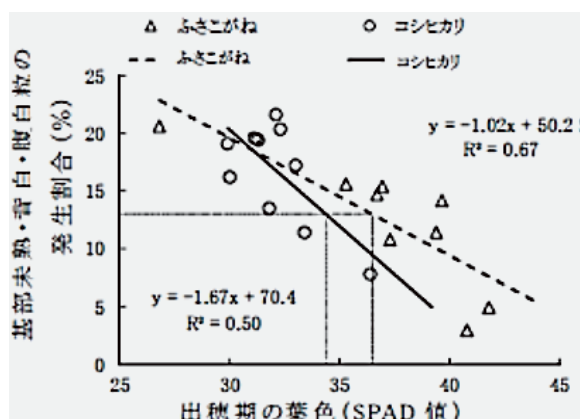
今からできる水稻高温登熟障害軽減対策 No.3/3

出穂期以降の稲体の活力維持

令和5年産米は白未熟粒(背白・基白)・胴割粒・充実不足米等の発生により、一等米比率が大幅に低下しました。気温上昇傾向が続いており、品質低下のリスクは年々高まっています。今後は常に高温を警戒した栽培管理が必要です。(2月号からの3回シリーズで今回が最終回です)

⑤ 出穂期以降の適正な葉色の維持 低すぎる蛋白%は整粒歩合を下げ食味も下がる!

食味計による食味値向上を重視するあまり、本来必要な窒素追肥を控える傾向にあります。出穂期以降の栄養(窒素)不足は、背白・基部未熟粒および胴割粒の発生を助長します。高温が予想される場合は出穂期以降の適正な葉色の維持に留意しましょう。新潟県の指針では元肥一発肥料の場合でも、コシヒカリで出穂期の葉色がSPAD値32を下回ると予想される場合は、緊急的対策として



して出穂期10日前～3日前頃に窒素成分で1.0kg/10aを目安に追肥することを推奨しています。

春耕時に適正な耕深を確保しておくことでも葉色は維持されます。

暑い中での追肥作業が困難な場合は、翌年以降も毎年高温登熟することを予想して元肥一発肥料をあらかじめより緩効性割合がやや多い追肥重点型の肥料に変更する事を検討しましょう。

(具体例:「ひとふりくん1号[速効性1:緩効性2] 県北向け」⇒「ひとふりくん2号[速効性1:緩効性3] 県中向け」又は「ひとふりくん3号[速効性1:緩効性4] 県南向け」)

⑥ 適切な水管理 こまめな間断灌水と早期落水防止で生育後期の稲体の活力維持

収穫作業の効率化のために土壌を固めることが重要となるために、コンバインの大型化にともなって落水を早める傾向が強まっています。しかし、高温登熟年には早期に落水すると特に登熟が不良となって品質・収量が低下しますので、出穂後30日間は完全落水を行わないことが重要です。その後乾燥状態が続く場合は収穫間際まで走水を与えましょう。

⑦ やや早めの適期収穫

登熟期が高温で経過した場合は特に胴割粒の発生が著しく増加します。また、予想以上に成熟が早まり適期から遅れて収穫しがちです。出穂期から収穫までの日数や登熟積算温度はあくまでも目安として、最終的には帯緑籼率(少しでも青味の残っている籼の割合)から収穫時期を判断する必要があります。大規模経営のため、作業計画の段階から収穫終盤の刈り遅れが想定される場合、最初の収穫作業をやや早めに開始する(適期より2～4 日前)。また、過乾燥米は更に胴割粒を増加させるので2段乾燥で適正水分14.5%に調整しましょう。

JA全農とちぎ 米穀課からのお知らせ

5・6月に行った宣伝活動をご報告します！



©栃木県 とちまるくん

JA全農Aコープ株式会社「田植え体験ツアー」を実施しました！



JA全農Aコープ(株)にて販売している栃木県産コシヒカリをお買い上げいただき、キャンペーンに応募・当選された方を対象に「田植え体験ツアー」を6月7日に実施しました。那須烏山市内の圃場にて、首都圏等に在住の消費者約40人にご参加いただき、JAなす南水稻請負部会の皆さんの指導のもと、田植えを体験いただきました。その後には、羽釜で炊いたコシヒカリをはじめ、とちぎ和牛やトマト・イチゴなど県産農畜産物をご賞味いただきました。

参加された皆様からは、田植え経験を通じて「『お米』に改めて向き合う貴重な経験になりました」、「『お米』により一層愛着がわきました」といったご感想をいただきました。

今後も消費者の皆様にお米づくりを体験頂く機会を通じて栃木米をPRしてまいります。

もぐもぐごはん部にて飯ごう炊飯イベントを開催しました！

栃木米が大好きな親子にご参加頂いている「もぐもぐごはん部」にて、「飯ごうをつかって美味しいごはんを炊こう！」をコンセプトとしたイベントを開催しました。今回は部員の皆様と協力して「とちぎの星」を飯ごうで炊飯し、あわせてカレーづくりを行いました。はじめての参加者も多く、焚火の火加減などに苦労しながら炊き上げたお米は格別の美味しさでした。

部員の皆様からは「お米が本当においしかった！」、「お米とカレーが美味しくていつもよりいっぱい食べられた！」といった感想をいただきました。

もぐもぐごはん部ではInstagramでもごはんに合うレシピやイベント情報を発信しています。今後も様々な情報を発信していきますので、ぜひフォロー・いいねをよろしくお願いします！



今後も栃木米の販売促進に向けた活動に積極的に取り組んでまいります！

水稲用初中期一発除草剤

新登場！

ゼアス®

今までにない カヤツリ剤

ベルダー配合

1キロ粒剤/フロアフル/ジャンボ/エアー粒剤/顆粒

特徴

年々ガンコになるホタルイに卓効

➤ホタルイ対策成分として新規作用、

しかも4L期まで効くベルダー配合

➤高温でも低温でも効果が安定

従来SU頼りだった多年生カヤツリ/グサ科雑草にも卓効

➤クログワイ、シスイ、コウキヤガラなど難防除の多年生雑草にも効く！

ベルダー・MY-100・ピラクロニルのバランスが取れた3成分混合剤

➤ホタルイ・クログワイの他、オモダカやコナギなどにも高い効果！

➤/ビエの発生を長期間抑える

非常に高い水稲安全性

➤田植同時、直播水稲、新規需要米にも高い安全性



県内試験圃場



6/18 現地研修会の様子
⇒高い効果を確認しました！



➡ クラシは
こちらから



JAグループ

農 協

全 農

経 済 連

登録商標 第4702318号



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>

お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

有用菌入り完熟有機発酵資材
土づくりの
有機ゴールド

完熟

バチルス菌

放線菌

フミン酸

ミネラル

野菜

花き

果樹

製造元：鹿沼化成工業株式会社



第24回 JAグループ栃木

抽選で豪華景品が当たる

クイズラリー

開催



農業機械大展示会

パワフル アグリフェア



©栃木県 とちまるくん

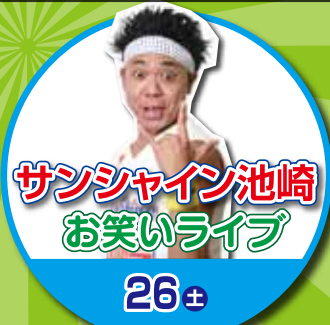
生産振興とJAグループへの結集を図り、持続可能な農業を実現します。

特設ステージ
イベント

※ステージイベント詳細は
全農とちぎHPで発表いたします。



26±27日
出演予定



26±



27日



全農とちぎホームページ
QRコード

7/26±27日

AM9:00~PM3:00(受付PM2:30まで)

会場 みずほの自然の森公園

公園内は全面禁煙となります

東駐車場特設会場 住所:栃木県宇都宮市西刑部町1861

公園内の駐車場には限りがございますので、来場の際は臨時駐車場より無料シャトルバスをご利用ください。臨時駐車場については全農とちぎHPをご確認ください。

主催

JAグループ栃木(農業協同組合・全農栃木県本部)

協賛

栃木県・JA栃木中央会・JA共済連栃木・
農林中央金庫宇都宮支店・JA全農とちぎ取扱関連メーカー



©栃木県 とちまるくん



様々なシーンで大活躍

普段使いからレジャーまで快適に過ごせます



ガーデニング



登山



釣り



アウトドア



スポーツ観戦



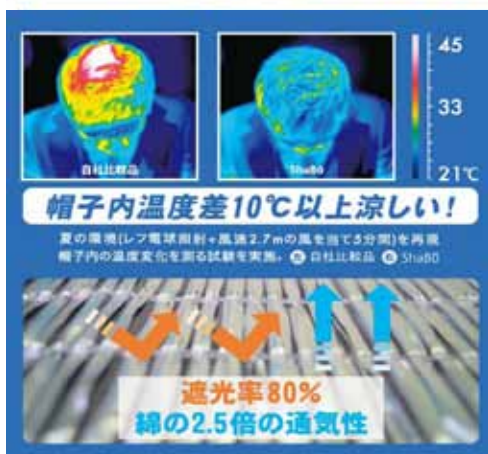
送迎



犬のさんぽ



野外フェス





野生を食べる 184 ヤブヘビイチゴ

本当はヘビイチゴのジャムを作ろうと思って探しに行ったが盛りを過ぎてしまって実が集まりそうにない。残念、また来年と思い帰ろうとすると、途中でヤブヘビイチゴを見つけた。ヘビイチゴは日当たりのよい草原でよく見かけるが、こちらは日陰の藪の中で見ることが多い。だからヤブヘビだ。違いは花や実がやや大きいこと実にツヤがあることくらいでなかなか区別しにくい。食べてみるとどちらも無味でそっけない。種がざらつくのも同じ。



料理メモ

イチゴもヘビイチゴも上の写真右のようなランナーで増えるのが特徴なので大きな群落を作ることが多い。したがって実を集めるのに時期さえ会えば簡単だが、なにしろ小さいので一定量集めるのに根気がいる。少量のジャムを作るのにはレンジを使えば簡単だ。まず、採ってきた実好みの量の砂糖をまぶしてしばらく放置。十分に砂糖が染みて水分が出てくればレンジにかける。途中で止めてレモン汁を少々。再びレンジで水分を調整する。写真2のような状態で終了してかまわない。冷めれば写真3のように丁度よくなる。旨いかと聞かれれば砂糖とレモンのおかげで旨いと言いたいがいちごのジャムには少し劣る。

(aida)



写真1



写真2



写真3

編集後記

今月号も最後までお読みいただきありがとうございます。梅雨が明け、本格的な夏の訪れを感じる季節となりました。熱中症は7月から8月にかけて患者数が増加する傾向にあるので、気温や湿度が高い日は十分に注意しましょう！（岩根）

発行：JA全農とちぎ 担い手支援課

TEL 028-616-8838

FAX 028-616-8819

生産者のみなさまへ

LINE@

友だち募集中!

ID: @jatochisaposen

コードを読み取るか、IDで検索

担い手サポートセンターが
生産者のみなさまを
LINEを通してしっかりサポート!

スマホで読める!

災害情報をいち早く確認!

肥料情報やイベント情報をお届け!

ぜひLINE@に登録を!